

北海道勤医協理事会「高齢者医療プロジェクト」主催

地域で見守る 高齢者のくらしと健康

—砂川モデルの実践から—



当日直接会場にお越しください

2017年
9月8日(金)
PM6:00-7:30

勤医協中央病院 みなくるA

北海道札幌市東区東苗穂5条1丁目9-1

お問い合わせ先:勤医協本部 橋本 (TEL:011-825-5322)



講師
内海 久美子

砂川市立病院認知症疾患医療センター長

一九五五年生まれ、旭川市出身。北大教育学部卒業後、児童精神医学を学ぶため札幌大に入学し、卒業後に同大附属病院精神科に就職。そこでアルツハイマーの研究に触れたことを機に、認知症の研究を続け博士号を取得。一九九六年から砂川市立病院に勤務し、二〇一〇年から現職。砂川市内で夫、ヘットと共に暮らす。

地域包括ケアが推進される中、医療と介護、家族や地域の支えなど、関りは多様になっています。それぞれが何を共有すべきでしょうか。

砂川市で、医師会、行政、病院や施設、在宅関係者を巻き込み、情報共有に取り組んでおられる内海久美子先生(砂川市立病院・医師)をお招きし、取り組みを紹介いただきます。

関係者の共通の言葉探しに大きなヒントが得られる講演です。

第2弾も開催決定

講演テーマ: 医師にこそわかってほしい、多職種で取り組む
ポリファーマシーとクスリリスク対策 (仮題)



講師
平井みどり先生

(神戸大学医学部附属病院 薬剤部長・医学部教授)

日 時: 2017年 10月5日(木) PM6:00-7:30

会場: 勤医協中央病院 みなくるA